あらかわ区政経営戦略プラン

~ さらなる行財政改革へ向けて~

平成26年度版



平成26年(2014年)3月

荒川区

・・・・・ 目 次 ・・・・・

第1章 区政経営戦略プランの基本的な考え方	1
1 区政経営戦略プラン策定の目的 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 区政経営戦略プランの位置付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3 区政経営戦略プランの 4 つの視点 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
4 計画期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
5 進捗管理	6
第2章 戦略別 計画項目	7
区政経営戦略プランの体系図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
各計画項目の見方 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 1
1 協働戦略 ~区民等による協働のまちづくり~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2
(1)区民参画の拡大 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 2
(2)協働型事業の構築・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1 4
(3)区政の透明性向上 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 0
2 業務戦略 ~事務事業の再編・整理等の推進~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 4
(1)より一層の業務改善の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2 4
(2)執行体制の見直し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 2
(3)区民の利便性の向上	3 4
(4)民間活力の積極的導入 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 7
3 財務戦略 ~財政基盤の強化 ~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
(1)財政基盤の強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 1
(2)健全な財政の推進 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 6
4 人事戦略 ~ 創造的人事行政への転換~ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 8
(1)目標を明確にし、行動する組織の形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 8
(2)高い職務意識の醸成と、意欲ある職員集団の育成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4 9
(3)地方自治体の役割や雇用動向等の変化に対応した多様な 人材の活用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5 0
(4)区政課題への取組を担保する適正な人員体制の確立・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	

第1章

区政経営戦略プランの基本的な考え方

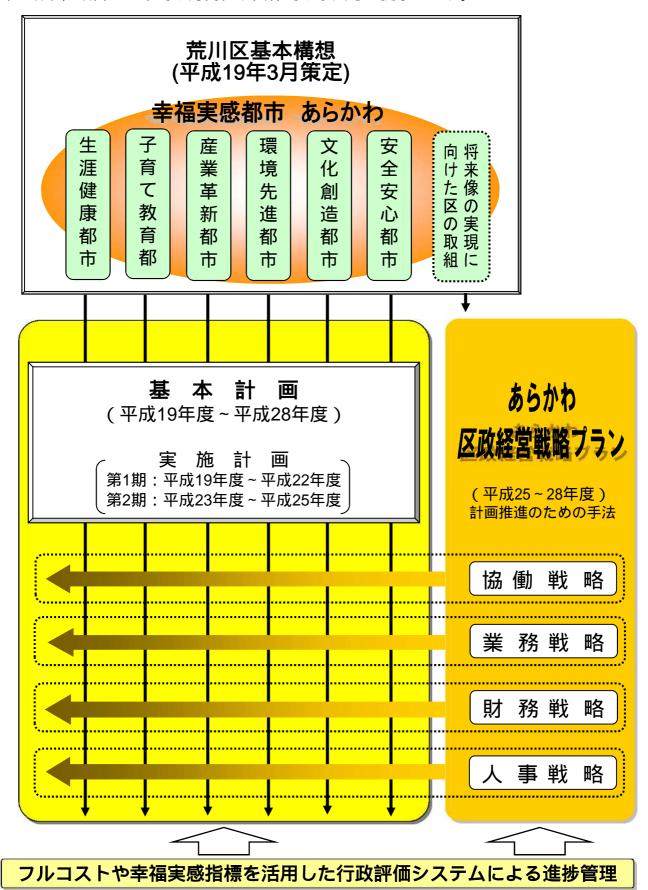
1 区政経営戦略プラン策定の目的

- ・ 荒川区では、昭和58年度に策定した「荒川区行財政体質改善基本計画」を皮切りに、数次にわたり行財政改革計画を策定し、それらの計画に基づき、事務事業の見直し、外部委託の推進、指定管理者制度の導入、定数管理の適正化等に全庁を挙げて取り組み、900人を超える職員定数の削減を実現するなど、着実に行財政改革を推進してきました。
- ・ 平成17年3月に策定した「あらかわ刷新プラン」では、区政の信頼回復に努めるとともに、事業の見直しや経費の削減のみを目指した従来型の行財政改革ではなく、区民参画の推進、施設のあり方や管理運営方法等の見直し、健全な財政運営、窓口サービスの向上などにより、区民サービスのレベルアップの視点からも改善を図ってきました。
- ・ 更に平成21年3月には、それまでの行財政改革の理念を継承しつつも、量的 削減の偏重から選択と集中による行政資源の適正かつ効率的な配分により、経営 的な視点をもって行財政改革を推進する「あらかわ区政経営戦略プラン」を策定 しました。
- ・ この計画では、区政運営の改革・改善に向けて重点的に取組む内容を「協働」、「業務」、「財務」、「人事」の4つの戦略として取りまとめています。「協働戦略」では区民参画による協働の推進、「業務戦略」においては民間活力の導入などによる業務改善の一層の推進、そして「財務戦略」では、事業計画のない用地等の売却、国や都等の補助金の徹底した活用、固定資産台帳の整備による公会計改革の更なる推進など、今まで以上に行政コストの縮減や財源確保等に踏み込むとともに、職員の意識改革を図っています。また、「人事戦略」においては、従来の定数削減の考え方に加え、職員のスキルアップをとおした行政サービスの向上を目的として、荒川区職員ビジネスカレッジの運営、研修体制の充実など、様々な取組を掲げています。
- ・ さらに、これらの計画の進捗管理に当たっては、行政評価システムにフルコストを導入し、徹底した事務事業等の評価を行い、その結果を計画の見直しや予算 編成等に活用しています。
- ・ こうした取組の結果、一例を挙げれば、廃止したひろば館跡地の売却、施設建設に併せた面的整備の実施による社会資本整備総合交付金の獲得、区民住宅の建物取得費用に係る割賦払金の一括返還による歳出の抑制とともに、多様な収納方法の導入やコールセンターの設置等による区民税の収納額の増額など、財源確保にも努めてきました。加えて、区施設における指定管理者制度の導入や保育園給食業務の完全委託化、窓口業務のサービス内容や開設時間の拡大などを実現し、さらには、法人立の特別養護老人ホームを誘致したことによる総床数の増床、保育園の増設による入園受入可能児童数の増加など、多様な行政需要に対しても着実に成果を上げてまいりました。

- ・ 一方、我が国は、人口減少社会を迎えており、国立社会保障・人口問題研究所による平成25年3月時点での将来人口推計では、荒川区においても、2020年以降、人口の減少と人口構成の変化が進んでいくとされています。今後、生産年齢人口の減少に伴う経済活動の停滞が懸念され、これまでの右肩上がりの成長社会から、経済の拡大が見込めない成熟社会への転換が求められてくことになります。
- ・ こうした中で、これからの区政には、社会経済動向に伴う区民ニーズの変化への対応とともに、迫りくる首都直下地震への備えや高度成長期に整備された公共施設の老朽化問題など、山積する課題への早急かつ着実な対応が求められています。
- ・ そして、今後も数多くの行政課題に的確に応えていくためには、今まで以上に 効率的で実効性のある施策等の展開が不可欠であり、それを実行するための適正 な財政運営にも一層の努力が必要です。
- ・ 今回策定した平成26年度版の「区政経営戦略プラン」では、既存事務事業の 内容の見直しや執行方法等の一層の改善を図るとともに、不燃化特区制度の積極 的な活用による木造密集地域の集中的な改善や公共建築物中長期改修計画に基 づく区施設の計画的な改修、区有財産の更なる有効活用などをとおして、さらな る行財政改革の推進に努めてまいります。

2 区政経営戦略プランの位置付け

本プランは、基本構想、基本計画、実施計画等をより効率的かつ効果的に推進していくため、「協働戦略」、「業務戦略」、「財務戦略」及び「人事戦略」の4つの視点から、区政運営の改革、改善の基本的な方向性や具体的な手法等を提示します。



3 区政経営戦略プランの4つの視点

本プランで提示する区政運営の改革、改善の基本的な方向性や具体的な手法等に係る4つの視点は、次のとおりです。

1協働戦略

区民等による 協働のまちづくり

荒川区の強みである地域コミュニティの 力を生かし、高まりつつある区政への

区民、事業者、地域団体等と区が適切 な役割分担の下、区民が主役の協働のま ちづくりを進めます。

- 区民参画の拡大
- 協働型事業の構築
- 区政の透明性向上

2 **業務戦略** 事務事業の再編・ 整理等の推進

これまでの行政改革の成果を生かし、よ リー層の区民サービス向上のため、業

最少の経費で最大の効果を生み出すよう、常に制度、仕組みや仕事の進め方を 見直します。

- ・より一層の業務改善の推進
- 類似事業の統合
- 区民の利便性の向上

あらかわ区政経営戦略プラン

基本的な方向性

3 財務戦略

財政基盤の強化

厳しい財政状況に対応するため、財政 基盤の強化を目指す

中長期にわたり計画的な収支のバランスを図り、健全な財政の推進を図ります。

- 財政基盤の強化
- ・補助金等の積極的な活用
- ・職員のコスト意識の醸成
- ・ 健全な財政の推進

4 人事戦略

創造的人事行政への転換

これまでの人材育成の成果を生かし、区民の期待に応える区政を実現するため、職員

高い職務意欲を持ち、知識や能力を兼ね 備えた職員集団の形成を目指します。

- ~新しい時代に対応した人事戦略構想から~
- ・目標を明確にし、行動する組織の形成
- ・職員の能力向上と高い職務意識の醸成
- ・意欲ある職員集団の育成
- ・地方自治体の役割や雇用動向等の変化に対応した多様な人材の活用
- ・区政課題への取組を担保する適正な組織体制

4 計画期間

平成25年度から平成28年度までの4年間

5 進捗管理

本プランは、公会計制度改革や新たに幸福実感指標を取り込んでレベルアップさせた行政評価システムと連動して進捗管理を行うことで、これまで以上に効率的かつ効果的な行政運営を実現するとともに、具体的な施策や事務事業の改善、見直しを進め、それを執行するための予算編成等に反映させていきます。

第2章

戦略別 計画項目

区政経営戦略プランの体系図

1 協働戦略 ~区民等による協働のまちづくり~

区民、事業者、地域団体等と区が適切な役割分担の下、区民が主役の協働のまちづくりを進めます。

1)区民参画の拡大		
区民参画の場と機会の拡充	各種審議会・会議等への区民参画	1
	防災まちづくり協議会	
	区民参画を促す規定の策定	1
	女性の参画率向上	'
区民意見の反映	パブリック・コメント制度の推進	
	あらかわEモニター制度の推進	
	区民の声の実施	1
	子育て支援モニター制度の推進	1.
	荒川区政世論調査	
	区民意向調査の充実	
2) 協働型事業の構築		
協働の担い手の育成	荒川コミュニティカレッジ	
	エコ人材バンク	
	サポーターの登録・育成	1 -
	地域活動サロン「ふらっと.フラット」(社会福祉協議会)の運営支援	
町会、ボランティア、NPO等の活動支援	町会活動に対する支援	
	 区民によるボランティア活動への支援	
	産業活性化事業(にぎわいコーディネーターの設置)	1
	地域活動支援	
産学官の連携による地域活性化の推進	大学との連携等	1
	伝統工芸技術継承者育成支援事業	
	LCS(低炭素社会戦略センター)との連携	1
区民等との協働の推進	GAH推進リーダー会議の設置·運営	1
	地域防災力の強化	
	子育て支援体制の充実	
	健康づくり・介護予防活動の推進	1
	環境保全・リサイクル活動等の推進	<u>'</u>
	芸術文化活動の振興	
3) 区政の透明性向上		
区政情報の公開の推進	区ホームページの充実	
	新たなツールの活用	
	行政評価結果(政策分析・施策分析・事務事業分析シート)の公表	2
	包括年次財務報告書の公表	
	区立施設見学会の実施	
地域の魅力を高める情報発信	メールマガジン、ツイッター、SNS(ソーシャル・ネートワーキング・サービス)	
	荒川区シンボルキャラクター(あら坊、あらみぃ)	
	あらかわキャラバン事業	2
	P R 紙、ガイドブックの発行	
	観光資源・イベントの活用(荒川遊園、川の手あらかわまつり、バラの市等)	
コンプライアンス(法令遵守)の徹底	チェック体制の強化	2
	民間事業者等に対する指導監督の強化	2
	各種研修の実施	,
	職員間での意識・情報の共有化	2

2 業務戦略 ~事務事業の再編・整理等の推進~ 最少の経費で最大の効果を生み出すよう、常に制度、仕組みや仕事の進め方を見直します。 より一層の業務改善の推進 行政評価等による施策・事業の検証 行政評価制度の充実 24 外部評価の導入 政策形成能力の向上 事務事業や執行方法の見直し 事務事業の整理・統合 2 5 執行方法の見直し 事務事業の集中的な推進 26 施設の在り方・管理運営の見直し ふれあい館の整備 27 ふれあい館の整備に伴うひろば館の廃止 区立保育園の在り方・管理運営の見直し 学校教育の充実 (仮称) 荒川二丁目複合施設(図書館・吉村昭記念文学館・子ども施設) の整備 28 図書館サービスの充実 リサイクルセンター(資源の中間処理施設)の整備 情報化の推進 基幹系システムの再構築 システム全体の最適化 29 システム調達の見直し セキュリティの強化 グリーンICTの推進 社会保障・税番号制度への対応 3 0 ICT リテラシーの向上 入札・契約制度の改革 総合評価方式の導入 業務委託の履行評価実施 3 1 業務委託契約等に係る労働環境の確認 (2)執行体制の見直し 横断的組織の構築 各種本部の設置 各種プロジェクトチーム、ワーキンググループ等の設置 32 全庁情報共有連絡会の設置 執行体制の在り方の検討 組織の改編・組織の再編 3 3 財団法人荒川区勤労者福祉サービスセンター 外郭団体等の在り方の検討 3 3 外郭団体・関係団体の在り方の検討 (3)区民の利便性の向上 窓口等サービスの充実 窓口関庁時間の拡大 区民事務所における取扱事務の拡大 フロアマネージャーの配置、総合案内カウンターの設置、総合相談担当の人員強化 3 4 仕事・生活サポートデスクの設置・実施 あらかわ就労支援センターの設置・実施 木造密集地域解消に向けた相談体制の強化 街区案内板の整備 申請手続の利便性向上 電子申請サービスの実施 3.5 電子納付サービス(ペイジー口座振替受付サービスの利用)の実施 電話・郵便での申請手続き 来庁者が利用しやすく、執務環境としても適 中長期改修計画等に伴う執務環境の改善 切な庁舎の管理・改修 執務室の拡充 3 6 来庁者の利便性を考慮した庁舎改善 (4)民間活力の積極的導入 公共と民間の役割分担の検討 新たな手法導入の可能性の検討 3 7 アウトソーシング(外部委託)の推進 職員研修の委託 生活福祉課業務の一部委託 要介護認定事務の一部委託 若年者就労支援業務の委託 放課後子どもプランの委託による事業拡大 3 8 放課後子どもプランと学童クラブの一体化 学童クラブ利用児童帰宅安全パトロール委託 道路公園等維持管理業務の委託拡大 施設管理の民間委託 区立施設における指定管理者制度の活用 指定管理者制度の活用 指定管理期間終了に伴う選定 39 実績評価制度の整備 民間事業者の事業誘致 都市型軽費老人ホームの誘致 地域密着型サービス事業所の誘致 4 0 保育所等の誘致 私立幼稚園の誘致 コミュニティバスの運行拡大

3 財務戦略 ~財政基盤の強化~

中長期にわたり計画的な収支のバランスを図り、健全な財政の推進を図ります。

(1)財政基盤の強化		
自主財源の確保	自主財源検討委員会	
日土別がり作体	ロエガ (赤快的 安貞 云 広告料収入の確保	4 1
		4 1
4.40 e in T.10	財産収入の確保(ころばん体操、自動販売機、施設貸付等)	
負担の適正化	使用料等の改定	
	施設利用における受益者負担の適正化	4 2
	保育料の適正化	
	家庭ごみの有料化	
債権管理の適正化	長期未収債権の整理	4 2
	弁護士への債権回収委託などによる法的措置の拡大	7 2
収納率の向上	納付案内センターの設置	
	徴収体制の強化	4 3
	区税等の支払方法の拡充	
資産の有効活用	旧教育施設	4 4
	旧ひろば館・廃止予定ひろば館	4 4
	日暮里区民事務所及び隣地	
	ラングウッドビル地下部分の活用	4 5
	町屋一丁目用地の活用	
(2)健全な財政の推進		
財政健全化に向けた総合的な取組	財政指標による点検	
	財政中長期見通しに基づ〈適正な財政運営	
	起債の適正な活用・管理	
	国・都からの財源確保	4.6
	特別区財政制度等の研究	4 6
	区施設における計画的な予防保全の実施	
	新電力導入による電気料金の節減	
	電話料金の節減	
公会計制度の改革	公会計制度改革の推進	4 7

4 人事戦略 ~ 創造的人事行政への転換~

高い職務意欲を持ち、知識や能力を兼ね備えた職員集団の形成を目指します。

高い職務息欲を持ち、				
	人事考課制度の活用			
(1)目標を明確にし、行動する組織の形成	目標管理の推進	4 8		
	第三者評価検証制度			
	新たな人材発掘プログラムの展開			
	職員のキャリアステージに応じた研修体系の充実	4 9		
	荒川区職員ビジネスカレッジ(ABC)	43		
(2)高い職務意識の醸成と、意欲ある職員集団の 育成	フレッシャーサポート制度			
F3 /-W	柔軟な職員配置の実現			
	複線的な処遇制度の確立	5 0		
	職員の表彰制度			
(2)地方点次体系组制医自用制力等系表化层特定	非常勤職員制度の改革			
(3)地方自治体の役割や雇用動向等の変化に対応 した多様な人材の活用	常勤職員採用の多元化の実現	5 0		
0.00 18.00 (19.00)	退職職員の新たな活用			
(4)区政課題への取組を担保する適正な人員体制 の確立	職員定数の管理	5 1		

各計画項目の見方

戦 略

区政経営戦略プランの四つの戦略を示しています。

1 協働戦略 ~区民等による協働のまちづくり~

区民、事業者、地域団体等と区が適切な役割分担の下、区民が主役の協働

のまちづくりを進めます。

(1)区民参画の拡大

取組の方向性 戦略を推進するための取組 の方向性を示しています。 所管課 取組の中心となる 課を示しています。

項目	区民参画の場と機会の拡充	所管課	総務企画課、文化交流推進課 環境課、子育て支援課 都市計画課、防災街づくり推進課 施設管理課、指導室 その他担当課
内容			、区の計画の作成過程等に区民が積 の拡充・仕組みづくりに努めます。
	宝	结	計画

内容	内容 極的に参加できるよう、区民参画の場と機会の拡充・仕組みづくりに努めます。						
		実績		計画			
5	実施項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28年度		
各種審認区民營	議会・会議等への 診画	 ・都市計画審議会 ・景観審議会 ・住宅対策審議会 ・低炭素地域づくり協議会 ・地球を守る区民会議 ・汐入地域ニュータウン推進事業(かわら版編集委員会) ・景観まちづくり推進委員会 ・環境審議会 ・「早寝・早起き・朝ごはん」推進会議 ・子ども・子育て会議 	実施	実施	実施		
	荒川五·六丁目 地区	実施 ・防災フォーラムの開催 (全地区合同開催)	実施	実施	実施		
- 1 /// 1	町屋二・三・四 丁目地区	実施 ・防災フォーラムの開催 (全地区合同開催)	実施	実施	実施		
り協議	荒川二・四・七 丁目地区	実施 ・防災フォーラムの開催 (全地 合同開催)	実施	実施	実施		
実施項目 各取組の項目を 示しています。		実施 ・防ジ 実績 (5年度~28 にしていまっ			

1 協働戦略 ~区民等による協働のまちづくり~

区民、事業者、地域団体等と区が適切な役割分担の下、区民が主役の協働のまちづくりを進めます。

(1)区民参画の拡大

項目	区民参	画の場と機会の拡充	所管課者	3		ア育て支援	課)推進課
内容		による政策形成の推進を できるよう、区民参画の					
		実績				計画	
3	実施項目	25 年度 (見込み	-		26 年度	27 年度	28年度
・都市計画審議会 ・景観審議会 ・住宅対策審議会 ・低炭素地域づくり協議会 ・地球を守る区民会議 ・沙入地域ニュータウン推進事業(かわら版編集委員会) ・景観まちづくり推進委員会 ・環境審議会 ・「早寝・早起き・朝ごはん」推進会議 ・子ども・子育て会議		養員等	実施	実施	実施		
	荒川五・六丁 目地区	実施 ・防災フォーラムの開催 (全地区合同開催)			実施	実施	実施
町屋二・三・四 丁目地区 ちづく り協議 荒川二・四・七 丁目地区		実施 ・防災フォーラムの開催 (全地区合同開催)			実施	実施	実施
		実施 ・防災フォーラムの開催 (全地区合同開催)			実施	実施	実施
	尾久中央地区	実施 ・防災フォーラムの開催 (全地区合同開催) ・地区計画の策定に向けての	D活動		実施	実施	実施

(1)区民参画の拡大

項目 区民参画の場と機会の拡充 (前ページの続き)

所管課

総務企画課、文化交流推進課 環境課、子育て支援課 都市計画課、防災街づくり推進課 施設管理課、指導室 その他担当課

				1		
		実績			計 画	
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28年度
	(仮称)自治基本条	・調査		・調査	・調査	・調査
区民参	例の制定	・検討		・検討	・検討	・検討
画を促	協働に関する方針					
す規定	の策定・推進	华 宁		推進	推進	推進
の策定	(協働ガイドライ	策定		推進	作進	推進
	ン)					
女性の参	多画率向上 【新規】	推進		推進	推進	推進

項目	区民意見	色の反映	所管課	総務企画課、秘書課 子育て支援課
内容	制度等の活用	見等を積極的に区政に反映で 目を推進するとともに、より 反映する仕組を整備します)一層、区	
		実績		計画

	実績	計画		
実施項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度
パブリック・コメント制度の推進	実施 (1件) 意見件数 (12件)	実施	実施	実施
あらかわEモニター制度の推進	実施(投稿数 400 件、アンケート調査 3件)	実施	実施	実施
区民の声の実施	実施 (1,300件)	実施	実施	実施
子育て支援モニター制度の推進	実施	休止		
荒川区政世論調査	実施	実施	実施	実施
区民意向調査の充実	・体制の強化 ・適宜適切な調査の実施(45 件) ・調査結果の分析手法の検討・活用	実施	実施	実施

_____ (2)協働型事業の構築

項目	協働の)担い手の育成		総務企画課、環境語 所管課 社会教育課 その他の担当課		
内容		割分担の下、地域の様々 育成を図ります。	てなる	公共サーヒ	ごスの提供に	協働で取り組
		実 績			計画	
実施	拖項目	25 年度 (見込み)	26 年度 27 年度		28 年度	
荒川コミニ	ュニティカレ	第2期修了	第3期修了		第4期修了	第5期修了
ッジ		第4期開講(受講者127人)	第5	期開講	第6期開講	第7期開講
エコ人材ル	バンク	検討・実施	実施	施 実施 実施		実施
サポータ- 成	−の登録・育	・まちづくりサポーター ・社会教育サポーター ・地域の子育てサポーター ・認知症サポーター ・グリーンサポーター ・環境サポーター 等	実施	Ī	実施	実施
地域活動サロン「ふらっと.フラット」(社会福祉協議会)の運営支		実施	実施	Ī	実施	実施

町会、ボラ の活動支援		,	ンティア、NPO等 所管課 総務企画課、区民 地域振興課、産業振! その他の担当課			養振興課	
内容	容		に活動に取り組んでいる ☑援するとともに、こう)ます。				
			実績			計画	
	℈	尾施項目	25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28年度
	11	ベント助成	実施		実施	実施	実施
		区町会連合会研 协成	実施(6町会連合会)		実施	実施	実施
町会活動に	町会活動に対する では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、		検討		実施	実施	実施
対する支援			検討		実施	実施	実施
		会事務所建設費 成【新規】	検討		実施	実施	実施
区民によるボランティア 活動への支援			・観光ボランティアガイド ・いきいきボランティアポー業 ・そのほか環境 ・子育てのボランティア	イント事	実施	実施	実施
産業活性化事業(にぎわい コーディネーターの設置) 【新規】		-	・観光資源の発掘観光振興 相談 ・商店街、個店への支援	に関する	実施	実施	実施
地域》	活動。	支援 【新規】	・地域情報誌作成支援 ・地域団体主催のイベント3	支援 等	実施	実施	実施

項目	産学官の連携による 地域活性化の推進	所管課	総務企画課、文化交流推進課 経営支援課、観光振興課 環境課、高齢者福祉課 健康推進課、社会教育課
	地域活性化の推進		健康推進課、社会教育課 指導室、その他の担当課

芸術文化、産業振興、福祉、健康、学術等の分野における産学官の連携 協力を通して、地域活性化の推進を図ります。

	励力を通じて、地域内住化の推進を図ります。							
		実 績	盲	十 画				
	実施項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27年度	28 年度			
大学と	国立大学法人東京 藝術大学との連携	・荒川区長賞 ・ワークショップ ・壁画制作	実施	実施	実施			
	国立大学法人山形 大学(工学部)との 連携	企業との共同開発、技術相談	実施	実施	実施			
	公立大学法人首都 大学東京(都立産 業技術高等専門学 校を含む)との連 携	・企業との共同開発、技術相談 ・ひざ痛予防体操(教室の実施・評価、DVDを使った普及啓発) ・おげんきランチ事業評価 ・荒川ころばん・せらばん体操(効果測定、普及啓発) ・荒川ばん座位体操(教室の実施、効果測定、普及啓発)	実施	実施	実施			
大学との連携等	女子栄養大学との 連携[健]	・あらかわ満点メニューの開発 ・提供	実施	実施	実施			
ਚ	早稲田大学との連 携	・学力・学習状況の調査研究 ・学校関係者評価制度の検証 ・理科教育支援事業推進校における授業 の質的向上 ・英語教育の推進 ・学校パワーアップ事業の検証	実施	実施	実施			
	都立農産高等学校 との連携 【新規】	三河島菜の栽培	実施	実施	実施			
	他大学等との連携 【新規】	・MACCプロジェクト ・産学連携ネットワーク広域的なネット ワークの検討	実施	実施	実施			

項目	産学官の連携による 地域活性化の推進 (前ページの続き)		所管課	総務企画課、 経営支援調 環境課、 健康推進調 指導室、そ	製、観光振 高齢者福祉 製、社会教	興課 L課 育課
実施項目		実 績 25 年度		26 年度	27 年度	28 年度
伝統工芸技術継承者 育成支援事業		(見込み ・実施 ・募集、決定、実習	•)	実施	実施	実施
L C S (低炭素社会戦 略センター)との連携		スマートコミュニテ する調査	ィの導入に関	実施	実施	実施

項目	区民等との協働の推進	所管課	総務企画課、防災課 区民課、地域振興課 文化交流推進課、環境課 清掃リサイクル課、高齢者福祉課 健康推進課、子育て支援課 荒川遊園課、防災街づくり推進課 道路公園課

内容

安全安心のまちづくり、子育て支援、健康づくりなど様々な分野で協働事業の推進を図ります。

		実績		計画	
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度
GAH 推進リーダー会議の設置・運営【新規】		設置	実施	実施	実施
地域防	防災区民組織を 中心とした永久 水利施設の活用 【新規】	・訓練実施 ・送水体制の整備	実施	実施	実施
災力の強化	防災資機材等の 充実【新規】	・D 級ポンプの配備 ・スタンドパイプの配備	実施	実施	実施
	避難所運営体制 の充実【新規】	・訓練実施 ・体制の充実 ・備蓄物資の充実	実施	実施	実施

項目	区民等との協働の推進 (前ページの続き)		所管課	清掃	区民課、 文化交流推 リサイクル 健康推進課、 遊園課、 防	語、防災 地域振興 進課、環 課、高齢 、子育てき が災街づく ない園課	課 境課 者福祉課 逐援課
実施項	5 ()	実	_ <u>績</u> 丰度			計画	Γ
天 肥坞	₹ 🗖		+反 込み)		26 年度	27 年度	28 年度
子育て支援体制の充実		・35 (産後) サポネット in 荒川		実施	実施	実施	
健康づくり・か動の推進	健康づくり・介護予防活 動の推進		・荒川ころばん体操、荒川せらばん体操 ・NO!メタボチャレンジャー 等		実施	実施	実施
環境保全・リサイクル活 動等の推進		 ・低炭素地域づくりの推進(街なかメガソーラー、省エネルギー/再生可能エネルギー導入の推進等) ・町会による集団回収 ・街なか花壇 ・荒川区ホタルを育てる会 		実施	実施	実施	
芸術文化活動の振興 【新規】		・子ども対象ワークショップ ・アートセラピー ・壁画制作		実施	実施	実施	

区立施設見学会の実施

実施

(3)区政の透明性向上

項目	区政情報の公開の推進		所管調	財	企画課、秘 政課、広報 育課、その作	誤		
内容	が迅速か	開かれた区政を目指し、区政に関する情報を正確に分かりやすく、区民が迅速かつ容易に得られるよう、個人情報等明確な理由のある場合を除き、積極的な公開を推進します。						
		実績			計画			
実施耳	頁目	25 年度 (見込み)			27 年度	28年度		
区ホームペー	-ジの充実	・機能改善の検討 ・関連サイトの統合検討		構築	実施	実施		
新たなツーノ	レの活用	メールマガジン・ツイッター	等	内容充実の ための全庁 的な検討	実施	実施		
行政評価結果(政策分析・施策分析・事務事業分析シート)の公表		実施		実施	実施	実施		
包括年次財務公表	務報告書の	実施		実施	実施	実施		
					l	I		

実施

実施

実施

(3)区政の透明性向上

項目	地域の魅力を高める 情報発信	所管課	総務企画課、広報課 文化交流推進課、観光振興課 子育て支援課、荒川遊園課 道路公園課
内容	地域経営の視点やマーケ し、区の魅力を内外に向け		想等を踏まえ、様々な手法を活用 ます。

		実 績	計画						
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度				
	バン、ツイッター、 ・シャル・ネットワ けービス)	実施	内容充実のための全庁的な検討	実施	実施				
荒川区シンホ (あら坊、あ	ボルキャラクター 5らみぃ)	商標使用料無償化	実施	実施	実施				
あらかわキャ	ラバン事業	実施	実施	実施	実施				
PR紙、ガイ	イドブックの発行	実施	実施	実施	実施				
	イベントの活用 川の手あらかわま の市等)	実施	実施	実施	実施				

(3)区政の透明性向上

項目	コンプライアンス (法令) 守)の徹底	 所管課	全 課 総務企画課、秘書課 経理課、職員課 情報システム課、介護保険課		
内容	各種研修の実施やチェック 進、公務への信頼確保を図る。			•	
	強化を進め、公正かつ公平な	区政の推進を	図ります。		
		実績		計画	
	実施項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度
	第三者によるチェック ・不正防止委員会 ・情報セキュリティ監査 ・個人情報保護運営審議会 ・情報公開・個人情報保護審査会 ・財産価格審議会 等	実施	実施	実施	実施
チェック 体 制 の強化	内部組織によるチェック【新規】 ・機種及び業者選定委員会 ・契約審査委員会 ・公有財産管理運用委員会 ・指定管理施設運営協議会 ・個人情報保護及び情報セキュリティ対策に関する自己点検 等	実施	実施	実施	実施
民業にる監強 監強 (工新規)	・認証保育所等への定期巡回	実施	実施	実施	実施

(3)区政の透明性向上

項目	コンプライアンス (法令遵 守) の徹底 (前ページの続き)		全 課 総務企画課、秘書課 経理課、職員課 情報システム課、介護保険課			
	実施項目	実 25 年度 (見込み)	26 年度	計 画 26 年度 27 年度 28 年度		
各種研 修の実 施	コンプライアンス研修 ・公務員倫理研修 ・ハラスメント研修 ・人権研修 ・公益通報者保護制度研修 ・個人情報保護・情報セキュリティ研修 ・セキュリティポリシー研修 等	実施	実施	実施	実施	
	業務研修 ・財務会計研修 ・契約・公有財産管理研修 ・法務執務研修 等	実施	実施	実施	実施	
職員間 でのま ・情報の共有 化 【新規】	・他自治体での事故等に関する情報 の共有 ・綱紀粛正に関する通知 等	実施	実施	実施	実施	

2 業務戦略 ~事務事業の再編・整理等の推進~

最少の経費で最大の効果を生み出すよう、常に制度、仕組みや仕事の進め 方を見直します。

項目	行政評価等による施策・事業の 検証	所管課	全課総務企画課、教育総務課
内容	施策・事業を継続的・体系的に分析 とって真に必要なサービスの拡充を図 かつ効率的な区政運営を推進します。	図るととも	

		実績		計画		
実施	芭項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度	
行政評価制度の充実		・評価の方法や仕組等の改善 ・システムの導入	実施	実施	実施	
外部評価の導入		・教育委員会主要施策に関する点 検・評価 ・包括外部監査の実施	ま施 実施		実施	
政策形成	幸せリーグの結成・参加	結成・参加	実施	実施	実施	
能力の向 上【新規】	プラチナ構 想ネットワ ークへの参 加	実施	実施	実施	実施	

_____ (1)より一層の業務改善の推進

I	事務事業や執行方 項目 見直し		法の	所管課	広報課、戸籍住民課 高齢者福祉課、国保年金課 環境課、子育て支援課 防災街づくり推進課、交通対策 施設管理課、道路公園課			
F	内容 事務事業の改善や執行 の効率化を図ります。			亍方法	5の見直しる	を行い、区民サ・	ービスの向	上や事業
				Stad	実績		計画	
		実施項	目		5 年度 見込み)	26 年度	27 年度	28 年度
			(ふれあい入浴事 事業に統合)【新	検討		実施	実施	実施
事務事業	住民票等の交付(コンビニ交付サービスの拡大と自動交付機の縮小)				施 動交付機 2 削減	・実施 ・自動交付機 1 台削減	実施	実施
	情報提供ツールの整理統合	エコともの区報 特集号への統合	実施					
事務事業の整理		区報ジュニアの 発行回数の縮小	実施					
統合		区報きっずの廃 止	検討		実施			
	【新規】		あらかわ子育て 応援サイト及び 荒川区産業ホー ムページの荒川 区ホームページ への統合	検討		検討	実施	
		つ助成事)【新規)	i業(上限2区分制]	見直	L	実施	実施	実施
執	荷捌き 【新規】		民間借上げの縮 小	実施		実施	実施	実施
方	■ 431 V/G	-	区有地の活用	検討		検討	検討	検討
執行方法の見直	-	借上げ	建設型	活用 討	のための検	活用・検討	活用・検討	活用·検討
見直し	の廃止と区所 有住宅の活 用)【新規】		借上型	検討		一部返還		
			化(リースによる 、)【新規】	検討		実施	実施・継続	実施·継続

事務事業や執行 項目 見直し (前ページの続き)		f方法の 所管課		広報課、戸籍住民課 高齢者福祉課、国保年金課 環境課、子育て支援課 防災街づくり推進課、交通対策課 施設管理課、道路公園課				
実施項目				<u>績</u> 年度 込み)	26 年度	計 画 27 年度	28 年度	
事務事 業の集 中的な	不燃化特区整 備促進事業 (木造密集地		荒川二・ 四・七地 区	実施	,,	実施	実施	実施
	域における集 中的な改善) 【新規】	町屋・尾 久地区	検討		実施	実施	実施	
推進	医療費分析を踏まえた糖 尿病重症化予防等(医療 費分析、ジェネリック医薬 品利用差額通知、糖尿病・ 糖尿病性腎症の重症化予 防指導)【新規】		実施		実施	実施	実施	

項目	施設の在り方・管理運 営の見直し		所管課	総務企画課、営繕課 区民課、地域振興課 清掃リサイクル課、子育て支援課 児童青少年課、保育課 教育施設課、社会教育課 南千住図書館						
内容	運営方法等を見	施設の配置のバランスや区民の利便性 運営方法等を見直すことにより、施設に の効率化を図ります。								
		実	績			計画				
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年	度	27 年度	28 年度			
ふれあい館の	整備	1 3 館		用地確の検討		用地確保等 の検討	用地確保 等の検討			
ふれあい館の 館の廃止	整備に伴うひろば	累計19館								
区立保育	基本的な考え方									
園の在り	を踏まえた実施	10 4 1 275		S## /##						
方・管理運	計画の検討・策	検討・策定		準備・	美肔	実施	実施			
営の見直	定									
L	新規園の整備	・夕やけこやけ保育園の開設・しおいり保育室の認可移行								
	既存園の再編	町屋保育園の	民設民営化検討	討 実施		開園				

項目	施設の7 の見直し (前ページ		所管課	区民 清掃リサイ 児童 教育施	企画課、営 課、地域振 クル課、子 青少年課、伊 設課、社会 南千住図書館	興課 育て支援課 保育課 教育課	
		実績			計画		
実	施項目	25 年度 (見込み		26 年度	27 年度	28 年度	
学校教 育の充 実	尾久八幡中学校 の建替え	・開設 ・旧校舎解体					
(仮称)荒川二丁目複合 施設(図書館・吉村昭記 念文学館・子ども施設) の整備		実施設計		工事	・工事・運営準備	・工事・開館	
図書館サ - ビスの 充実	図書サービス ステーション の整備・充実	・計2か所設置 ・新規施設の設置検討		設置検討	設置検討	設置検討	
リサイクルセンター (資 源の中間処理施設)の整 備		基本設計		実施設計	工事	開設	

項目	情報化の推進	所管課	全 課総務企画課、情報システム課
内容	区民サービス及び事務効率の向 適な形で積極的に活用するととも		

		実績	計画			
3	実施項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度	
基幹シス	ステムの再構築	着手	実施	運用	運用	
システ ム全体 の最適 化	サーバ統合に向けた共通基盤の構築	情報系システム共通基盤の構築・運 用	運用	運用	運用	
	共同利用サービ スの拡大	検討	検討	検討	検討	
16	クラウドサービ	・検討	・検討	・検討	・検討	
	スの活用	・実施	・実施	・実施	・実施	
システム調達の見直し		・システム評価の実施・情報システム調達アドバイザーの活用・情報システム導入ガイドラインの見直し	実施	実施	実施	
セキュリティの強化		・庁内 LAN の機能強化 ・送信ドメイン認証の導入 ・セキュリティ研修の充実 ・情報セキュリティ監査の実施	充実	実施	実施	
グリーンICTの推進		・低消費電力パソコンへの更新 ・パソコン消費電力のピークカット 対策の実施 ・サーバ統合	実施	実施	実施	

項目	情報化の推進 (前ページの続き)		所管課	総務企画語	全 課果、情報シブ	ステム課
		実績			計画	
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28年度
社会保障・ 税番号制度	システム改修等	検討		検討	検討	実施
への対応 【新規】	申請手続の 見直し	検討	検討			実施
ICT リテラシーの向 ・都 IT 応用		・研修の充実実施 ・都 IT 応用研修の受講 ・セキュリティに係る e ラ 実施	ーニングの	実施	実施	実施

項目	入札・契約制度の改革			課	経理課	
内容	平成 22 年 12 月に策定した「荒川区におけるが り方について」に基づく契約制度の改革を行う。 正な競争を促進し、公平かつ公正な契約の実現			ことにより、事業者間の適		
		実績			計画	
実施	項目	25 年度 (見込み)		26年度	27 年度	28 年度
	工事	実施		実施	実施	実施
総合評価方式の導入	政策推進の ための入札 方式	実施		実施	実施	実施
業務委託の履行評価実施		検討		検討 実施	検討 実施	検討 実施
業務委託契約等に係る労 働環境の確認【再掲】		充実		実施	実施	実施

(2)執行体制の見直し

項目	横断的組織の構築 所管課 障害 伊			総務企画課、防災課 営繕課、産業振興課、 就労支援課、環境課 害者福祉課、健康推進課 保育課、児童青少年課 すて支援課、社会教育課、 住図書館、その他の担当課		
内容	│ 多様化複雑化する行政 る問題解決に当たって、 構築します。					
\	実績				計画	ı
実施項目	25 年度 (見込み)			26 年度	27年度	28年度
各種本部の設置	 ・新型インフルエンザ等対策本部条例の施行 ・荒川区 2020 年東京オリンピック・パラリンピック推進本部 ・永久水利整備活用推進本部 ・アスベスト対策本部 ・水防本部 			実施	実施	実施
各種プロジェク トチーム、ワー キンググループ 等の設置	・荒川区民総幸福度(GAH)に関ープ、研究会、プロジェクト・CS と職員のモチベーションドグループ、研究会の設置・地域力に関する研究会の設置・親なき後の支援に関する研究・(仮称)荒川二丁目複合施設。文学館・子ども施設)の様・債権管理委員会の設置	チームの設計こ関するワーご会の設置(図書館・吉検討会	当 キング	実施	実施	実施
全庁情報共有連 絡会の設置	現年度及び次年度の主要事業 を図るための定例会議の実施	についての情	報共有	実施	実施	実施

(2)執行体制の見直し

項目	執行体制の在り方の検討		所管課	総務介	ὲ画課
内容	区民満足度の高いサービスを提 的に推進すべき事業等に的確に対 で効率的な執行体制の在り方につ めます。	応でき	る執行体に	制とするため	、常に簡素
	実績			計 画	
実施項目	25 年度 (見込み)	2	6 年度	27 年度	28 年度
組織の改編組織の再編	災害に強い安全な街づくりをさらに推進するための防災都市づくり部の再編・交通対策課(再編)・施設管理課(再編)・道路公園課(再編)(旧/再開発課、土木管理課、道路課、公園緑地課を廃止)名称変更・建築指導課(旧/建築課) 福祉組織の在り方についての検討	や生 進す 化・		実施	実施

内容 外郭団体や関係団体について、今後の在り方や方向性を検討し、必要な 見直し等を進めます。 実績 計画
字体语口 25 年帝 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
実施項目 25 年度 26 年度 27 年度 28 年度 (見込み)
財団法人荒川区勤労者 合併(一般財団法人東京城北勤労者サービス
福祉サービスセンター センター)
外郭団体・関係団体の
在り方の検討【新規】 検討 検討 検討 検討

(3)区民の利便性の向上

項目			窓口等サービスの充実 所管課 就国係		区民課 地域振 就労支援 国保年金記	画課、秘 、戸籍は 興課、税 課、福祉 果、子育で ごくり推	民課 務課 推進課 で支援課
内容 質の高いサー 区施設の利便性		- ビスを提供する Eの向上を図りま		務等の改割	善を図ると	ともに、	
		実	績		計画		
実施項目			年度 込み)	26 年度	27 年度	28 年度	
本庁舎での夜間 延長(水曜)		実施		実施	実施	実施	
窓口開庁時間の拡	日曜開庁(第 2・4日曜午前) の実施	実施		実施	実施	実施	
大 南千住区民事務 所の開庁時間の 延長		実施		実施	実施	実施	
区民事務所I 務の拡大	こおける取扱事	外国人の住民票等の発行実施		実施	実施	実施	
	ジャーの配置、総 ターの設置、総合 員強化	実施		実施	実施	実施	
仕事・生活サポートデスクの 設置・実施		実施 ハローワークと一体化		実施	実施	実施	
あらかわ就労支援センター の設置・実施【新規】		J O B コーナー町屋、若年者相談窓口、就労支援課の連携によるワンストップサービスの実施			実施	実施	
木造密集地域解消に向けた相談 体制の強化【再掲】		・各戸訪問相談の充実 ・建築相談ステーションの設置		実施	実施	実施	
街区案内板の	の整備【新規】	実施		実施	実施	実施	

_____ (3)区民の利便性の向上

実施

き【新規】

項目	項目 申請手続の利便性向上				情報システ その他の担	
内容		電子申請サービス及び電子納付サービスを導入し、より一層の申請引 の簡素化と利便性の向上を図ります。				
		実績			計画	
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年	度	27 年度	28 年度
電子申請サービスの実施 (自転車駐車場等利用登録 申請、情報公開請求、各種 手続申請等)		各種調査への活用	実施		実施	実施
電子納付サー (ペイジーレ 付サービス) 設利用料納付 手数料納付等]座振替受 の実施(施 、証明書発行	実施	実施		実施	実施
電話・郵便で	の申請手続	実施	実施		実施	実施

実施

実施

実施

(3)区民の利便性の向上

【新規】

	区区07市区110.					
項目	来庁者が利用しやすく、執務環境 としても適切な庁舎の管理・改修 所 【新規】				経理説 営繕説 その他の担	R
		目しやすく、効率性にも着目 になった本庁舎への対応を		宁舎	の管理・改作	修を行う
		実績			計画	
	:施項目 	25 年度 (見込み)	26 年	度	27 年度	28 年度
中長期改修計画等	照明器具の LED化	実施				
に伴う執務環境の改善改善	空調設備改修工事	基本設計	実施設	計	実施設計	改修工事
	ファイリング機 器の更新	実施	実施		実施	
	倉庫の拡充	検討	可動う納の導		実施	
執務室の 拡充	北庁舎の増築	実施 防災都市づくり部執務室の統合				
	相談スペースの 確保等【新規】	検討	検討		検討	検討
	電子案内板 【新規】	実施	実施		実施	実施
来庁者の 利便性を 考慮した 庁舎改善	産業経済部の本 庁舎への移転 【新規】	準備	実施			
	防災都市づくり 部執務室の統合	実施				

項目	公共と民間の役割分担の検討所管			公共と民間の役割分担の検討所管課総務企画) 画課
内容		公共サービスの一層の質の向上と効率化を図るため、区が行う公共サービス全般について不断の見直しを行い、新たな手法の導入について検討します。						
実施項目		実 績 25 年度 (見込み)	26 年	計 画				
新たな手法導入の可能性の検討		・他自治体調査 ・検討 ・PFI導入検討	・調査・検討		・調査・検討			

項目	アウト の推進	∼ソーシング(外部委託) <u>ҍ</u>	所官課 児童青少年課、道路公園課 その他担当課				
		実績		計画			
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度		
職員研修の勢	託	実施	実施	実施	実施		
生活福祉課業務の一部 委託		拡充	実施	実施	実施		
要介護認定事務の一部 委託【新規】		検討	実施	実施	実施		
若年者就労支援業務の 委託【新規】		実施	実施 実施		実施		
放課後子ども委託による事		2 か所拡大 (合計 11 ヶ所)	拡大 (合計 14 ヶ 所)	拡大 (合計 16 ヶ 所)	拡大 (合計 18 ヶ 所)		
放課後子ども 学童クラブの		2 か所実施・検討	拡大 (合計7ヶ所)	拡大 (合計8ヶ所)	拡大 (合計9ヶ所)		
学童クラブ和 宅安全パトロ 【新規】		実施	実施	実施	実施		
道路公園等約 務の委託拡力		班体制の導入	実施	実施	実施		
施設管理のF 【新規】	尼間委託	検討	検討	検討	検討		

項目 区立施設における指定管理者制度 の活用 所管課 その他						
内容	的な管理 必要に応	民間事業者等が有するノウハウ等を活用し、区民サービスの向上と効率 的な管理運営を行うため、「荒川区指定管理者制度運用方針」に基づき、 必要に応じて、指定管理者制度を活用するとともに、導入後の適正な管理 運営に努めます。				
		実績	計画			
実施項	目	25 年度 (見込み)	26 年度	麦	27年度	28年度
指定管理者制	度の活用	55 施設	56 施設		56 施設	56 施設
指定管理期間 う選定	見終了に伴	22 施設 15 施設 8 施設 16 施				
実績評価制度	要の整備	評価方法の見直し				

項目	民間事業	業者の事業誘致	保育課	基課、介護 、子育です 逐通対策課	芝援課	
多様化する行政需要に応え、区民サービ		ビスの向上と	:効率的な	事務執行		
内容 を行うととも			に、民間事業者等が有するノウハウ等を活用するため、			
	要に応じ、	事業の民営化、民間	委託等を推	進進します。	11 -	
⇔ ŧ	た T古 口	実 績 25 年度			計画	
夫瓜	施項目 	25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28 年度
都市型軽費老人ホームの		2 施設開設				
誘致		(合計設置数 5 ヶ所)				
地域密着型サービス事業 所の誘致		6 施設開設 (合計設置数 37 か所)		7 施設開設		
	認可保育園 認証保育所			4 施設開設	実施	実施
保育所等 の誘致	荒川区グル ープ型家庭 的保育施設 【新規】	1 施設開設		検討	検討	検討
私立幼稚園の誘致		検討		運営事業者 公募	設計・工事	開園
コミュニテ運行拡大	ィバスの	検討		実施 検討	実施 検討	実施 検討

3 財務戦略 ~財政基盤の強化~

中長期にわたり計画的な収支のバランスを図り、健全な財政の推進を図ります。

項目	自当	E財源の確保	高齢者福祉課、その他の			理課
内容	あらかわ区報などへの企業広告掲載等 するとともに、引き続き新たな方策につ			• • • • • • • •		こついて検討
		実績			計画	
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28 年度
自主財源検討委員会		検討		検討	検討	検討
広告料収入の確保		あらかわ区報有料広告		検討	検討	検討
財産収入の確保(ころ ばん体操、自動販売機、 施設貸付等)		・運用・検討		・運用・検討	・運用・検討	・運用・検討

項目	負担の適正化 所管課				、清掃リち 舒課、教育	
内容	等につい	区が提供するサービスに関する施設使用料や保育料、家庭ごみの有料化等について、社会経済状況の変化等を踏まえ、適正な基準に基づき、負担の適正化を図るよう検討します。				
		実績			計画	
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28 年度
使用料等の改定		検討		検討	検討	検討
施設利用における受益 者負担の適正化		検討		検討	検討	検討
保育料の適正化		検討		検討	検討	検討
家庭ごみの有料化		調査·検討		検討	検討	検討

項目 債権		管理の適正化	所管語	果	総務企画	
						<u> </u> 当課
	債権管	債権管理の体制を整備するとともに、負担の公平性の観点から、貸				
中宏	度における未収金等の債権回収、早期対応等の取組を強化し、債権管理					
内容	徹底を図	ります。また、貸付事業等の必要	要性や制	度の見直	直し等を行	います。
実績計画						
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28年度
長期未収債権の整理		実施		実施	実施	実施
弁護士への債	養権回収委					
託などによる法的措置		実施		実施	実施	実施
の拡大						

項目	収納率	の向上	所管課	介護保険	《テム課、》 注課、国保)他の担当	年金課
内容	負担の公平 ため、現年度 便性を向上す	を強化する				
		実績	 責		計画	
実施項目		25 年度 (見込み)		26 年度	27 年度	28 年度
納付案内セン	/ターの設置	運用		運用	運用	運用
徴収体制の強	金	差押の強化		実施	実施	実施
区税等の支払方法の拡充 ・コンビニ収納 ・MPN収納 ・グレジットカード収納 ・モバイルレジ収納 ・ペイジー口座振替受付サ		・拡大(ペイジーロ ビス) ・運用]座振替受付サー	運用	運用	運用

コンビニ収納・・・コンビニの店頭へ納付書を持ち込み、支払う方法

ペイジー収納・・・自治体と金融機関を結んだネットワークを用いた収納方法

クレジットカード収納・・・公金支払専用のWebサイトを利用した収納方法

モバイルレジ収納・・・コンビニ収納用バーコードをカメラ付携帯電話で撮影し支払う方法

I	頁目	資産の有	効活用	所管課	総務企画課、 保育課、その	
		未利用施設		设告を踏まえ、	利用されてい	1ない区有
		財産等につい	ては、適正な手続の下、	有効活用を図	図ります。また	こ、施設の
P	内容	廃止等により	、事業計画のない用地等	穿は適正に管理	里するとともに	こ、可能で
		あれば売却処				
			実績		計画	
	実放	拖項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度
	旧道中	校舎・体育 館	閉鎖管理開始	実施	実施	
		校庭	暫定活用	実施	実施	
旧教育施設	旧真土	校舎・体育 館	閉鎖管理 開始	実施	実施	
設	۱,	校庭	暫定活用	暫定活用終了	閉鎖管理開始	
	旧小台橋小学校		活用	実施	実施	実施
	旧八ヶ: 場	岳学校キャンプ	検討	検討	検討	検討
	峡田ひる	ろば館	売却			
	瑞光ひ	ろば館	一部売却			
旧ひる	地蔵堀	ひろば館	活用			
ろ ば 館	小台橋	ひろば館	活用	活用	活用	活用
・廃止予定ひろば館			活用検討	検討	検討	検討
ひ	南千住区民事務所東		解体			
	部・石	浜ひろば館	売却			
館	東日暮	里二丁目ひろば	解体	売却		
	東日暮	里三丁目ひろば	活用			

項目	資産の有効 (前のページの	所管課	総務企画課、経理課保育課、その他の担当課			
		実績			計 画	
実施項目	(対象施設)	25 年度 (見込み)	26 年度	麦	27 年度	28 年度
日暮里区民事務所及び隣地		調査・検討	・調査・検討 ・区民事務所 検討 検		検討	
ラングウッドビル地下部分 の活用【新規】		リニューアル 実施			実施	実施
町屋一丁目用地の活用 【新規】		私立認可保育所整備·運営事業 者選定	私立認可(保育	開園	

(2)健全な財政の推進

項目		財政健全化に向けた総合的な取組	所管課	その他担当課	
内	容	な対応を図るため、区の財政見	厳しさを増す経済状況と今後の新たな行政ニーズへの適切 対応を図るため、区の財政見通しを明らかにするとともに 対政健全化のための方策について検討を行います。		
		実績		計画	
実施	項目	25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度
財政指標に	よる点検	実施	実施	実施	実施
財政中長期づく適正な	見通しに基 財政運営	見直し	見直し	見直し	見直し
起債の適正 理	な活用・管	・区民債発行の検討 ・起債活用額の目安等の設定	実施	実施	実施
国・都からの財源確保		主な補助金 ・社会資本整備総合交付金 ・緊急雇用創出事業臨時特例補助金 ・密集住宅市街地整備促進事業費 ・スポーツ祭2013気運醸成・開催 記念事業費補助金 等 新たな補助金等の活用のための庁内 情報共有の推進	実施	実施	実施
特別区財政 究	制度等の研	特別区特有の財政制度の研究	実施	実施	実施
区施設に	中長期改 修計画の 作成	策定			
おける計画 防保全 の実施 【 規】	中長期改修実施計画の策 で・推進	策定実施	実施	実施	実施
新電力導入 料金の節減	による電気 【新規】	実施	実施	実施	実施
電話料金の	節減【新規】	検討 一部実施	検討	検討	検討

(2)健全な財政の推進

項目	公会計制	公会計制度の改革 所管課			財政課 その他担当課	
内容	とともに、コ	状況を把握し、限られた資 スト意識の醸成と鋭敏な経 簿記・発生主義会計)の導	営感覚を	確立	するため、	
		実績			計画	
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年	度	27 年度	28 年度
公会計	包括年次財務報 告書の作成及び 公表	実施	実施		実施	実施
制度改	固定資産台帳の 整備	実施	実施		実施	実施
進	研修、勉強会等への積極的な参加	・公会計改革推進プログラムへの参加(早稲田大学パブリックサービス研究所) ・東京都公会計制度改革研究会への参加	実施		実施	実施

項目

4 人事戦略 ~ 創造的人事行政への転換~

経営資源としての人材の育成、能力開発を進めるとともに、適正な組織人 員体制の確立を図るため、平成 19 年 9 月に「新しい時代に対応した人事戦 略構想」を策定しました。

「新しい時代に対応した人事戦略構想」では、区民の満足度を高めるきめ細かな区政運営には、区政を担う職員の果たす役割が大きいことから、高い職務意欲を持ち、知識や能力を兼ね備えた職員集団の形成が必要であるとの認識から、これからの人事政策の目指すべき方向として、次の四つの戦略を掲げました。この四つの戦略を実現するため多様な施策を展開します。

新しい時代に対応した人事戦略構想

戦略● 目標を明確にし、行動する組織の形成

戦略2 高い職務意識の醸成と、意欲ある職員集団の育成

戦略❸ 地方自治体の役割や雇用動向等の変化に対応した多様な人材の活用

所管課

職員課

戦略 ② 区政課題への取組を担保する適正な組織体制の確立

(1)目標を明確にし、行動する組織の

形成

内容	「職務遂行型組織」から組織がそれぞれ目標を明確にし、さらに、その 実現に向け自立的に考え、プランを立て行動する「目標達成型組織」へと 発展進化させていくため、職員一人一人が自らの目標を設定し、その達成 のために職務を遂行する体制への転換を図ります。						
		実績		計画			
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度		
人事考課制度	夏の活用	人材育成・昇給・昇任等への活用	推進	推進	推進		
目標管理の推進		・組織目標を踏まえた個人目標の設定と進 捗管理 ・達成状況の確認と評価	推進	推進	推進		
第三者評価検証制度		苦情処理制度の運用	実施	実施	実施		

項目		(2)高い職務意 職員集団の	意識の醸成と、意欲ある 所管課	秘記	書課、職	員課
内容			、が高い職務意識を持ち、情熱を持さ、 さもに、区の職員文化として定着さ です。			
			実績		計画	
	実	施項目	25 年度 (見込み)	26年度	27年度	28 年度
新たな <i>)</i> の展開	人材系	Ě掘プログラム	・大学公務員・予備校説明会・採用説明会・見学会・経験者向け説明会・インターン受入	実施	実施	実施
	職員が自ら選択受 講する研修制度 (能力開発型中心)		・キャリアデザイン研修 ・能力開発研修(69 講座)	実施	実施	実施
職員の キャリ	新人	、育成プログラム	実施	実施	実施	実施
アステ	経験	· 食者採用職員研修	実施	実施	実施	実施
ージに 応じた 研修体 系の充 実		世代リーダー育 プログラム	・ワークショップ・企業等訪問・合宿・区長プレゼンテーション	実施	実施	実施
		長職昇任前研修 新規】	実施	実施	実施	実施
	管理職候補者の研修 【新規】		実施	実施	実施	実施
荒川区職員ビジネスカレッ ジ (ABC)			・ABC本科課程の充実 ・ABC大学院の拡充 ・ABC大学院研究員制度創設 ・「研究紀要」の発行 ・公共政策大学院等への派遣			
フレッシ	フレッシャーサポート制度		実施	実施	実施	実施

項目

項目	(2)高い職務意識 職員集団の育 (前のページの		所管課	秘書	書課、職	員課
	<u> </u>	<i>-</i>	実績			計画	
	美质	拖項目 	25 年度 (見込み)		26年度	27年度	28 年度
柔軟な	庁内公募制 人事異動制度		実施		実施	実施	実施
職員配置の実現	・就労支援課への他所属 就労担当者の兼務 ・職員寮入寮者の防災課 兼務 ・課題別PTの設置		実施		実施	実施	実施
複線的な処遇制度の確立		度の確立	検討		調整	調整	調整
職員の表彰制度 MBA表彰 【新規】 職員表彰			実施		実施	実施	実施

内容	社会情勢の変化や区民ニーズの多様化・増大化に伴い、基礎自治体としての区の役割が大きく変化しています。こうした変化に対応するため、業務内容に合わせ様々な人材の採用など、目的達成に合致する多様な雇用形態の活用を図ります。						
		実績		計画			
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年度	27 年度	28 年度		
非常勤職員制度の改革		休暇制度の拡充	実施	実施	実施		
常勤職員採用の多元化 の実現		・経験者採用の実施 ・育児休業任期付職員の採用	実施	実施	実施		
退職職員の新たな活用		新再任用制度の導入・活用に向けた検討	実施	実施	実施		

所管課

職員課

(3)地方自治体の役割や雇用動向等の

変化に対応した多様な人材の活用

4	4
	L
	具
田田	人

項目	` '	課題への取組を担保する適正 員体制の確立	所管課		職員記	果
	区の組織及び区政の事務執行の最適な在り方について多面的な検討 行うとともに、区政が担うべき基本的な業務の実施に関し必要かつ最久					
内容	職員体制	職員体制を明確にし、今後区政が重点的に取り組む課題に必要となる組織 人員の在り方について具体的な検討を行い、区における適正な人員体制の				
	確立を図	ります。	,			2011 193 32
		実績			計画	
実施項目		25 年度 (見込み)	26 年	度	27 年度	28 年度
職員定数の管理		25 年 4 月現在の常勤職員数 1,542 人				

平成 26 年 3 月発行

登録番号 (25)0118号

あらかわ区政経営戦略プラン

(平成 26 年度版)

発 行 荒川区総務企画部総務企画課 〒116 8501 荒川区荒川 2 2 3 03-3802-3111 (代表) 内線 2111

